

# 令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

一般社団法人 地域活性化いじめ撲滅実行委員会

## 1. 事業の成果

### ◆いじめ、不登校、引きこもりに関する個別相談

佐賀県内の児童・生徒64名の個別相談を行った。今年度は対応相談件数の増加とともに、希死念慮等深刻な内容を伴う相談も多かった。初動の電話応対ですべてを終わらせず、不登校に至っている多様な子ども自身の悩みや家庭が抱える課題を深掘りすることが重要だと思い、複数回の面談やイベントへの誘い出しなど伴走支援にも時間を割いた。復学や進学へのネックになる学習の遅れにもケアが必要であると感じることが多く、学習支援部門に取り次いで部門を跨いだケアに至るケースも3件あった。

### ◆いじめ、不登校、引きこもりに関する防止対策及び啓発活動

お金をまわそう基金の助成事業で「いじめ相談カード」を作成し、教育委員会の協力のもと佐賀県内の全小中学校に配布したほか、佐賀市市民活動応援制度「チカラット」のご支援で、NBCラジオでの事業啓発の番組を毎月1回1年間放送した。

\*ラジオ放送域が長崎県と福岡県南部にも及んでいるためか、県外からの相談電話も数件あった。

### ◆学習支援

金子財団の助成事業で、学習支援事業の拡充を行った。佐賀市と鳥栖市で毎週実施する学習支援教室は、休講の週もあったものの、年間で68回開催した。参加生徒数はのべ1250名を超え、希望者の増加に対応できる人員の確保が課題となっている。上記の定期的な画集支援のほかに、年間41回の個別指導と50回の受験対策指導も実施した。

### ◆子どもたちの体験学習・イベント等の企画と実施

徐々に新型コロナウイルスの流行が収まりつつあるため、小規模な体験学習の機会を3回設けた（佐賀県佐賀市、佐賀県伊万里市2回）。伊万里市ではシーバード伊万里・有田の皆さまと共催で海上清掃を実施し、60名を超える子どもたちと家族が参加した。大川内山での焼き物の絵付け体験にも60名ほどの参加者があり、子どもたちが地場産業に触れる機会を提供できた。佐賀市では、大電教育振興会に一部助成していただき、子どもたちが企画・参加するクリスマスライブを実施した。子どもたちが音

響や接遇の運営で参加したほか、ライブハウスでプロミュージシャンとの共演や、嘉瀬小学校の生徒たちが曲に合わせてダンスを披露するなど舞台上・舞台裏の両方に多数の子どもたちが参加した。総勢100名ほどの参加があり、感染症の流行による制限下のイベントとしては十分な規模で実施できた。また、イベントの様子を動画にして配信するなど新たな試みも行った。

## 2. 法人の組織基盤に関する成果

### ◆資金基盤の強化

引き続き渉外に努め、事業に必要な資金調達に努めた結果、前年度を大きく上回る資金が集まった。また、ふるさと納税の返礼品を調達する際に地域の生産者に会う機会も増え、子どもたちの体験授業や見学などでの協力を依頼している。あわせて、ふるさと納税を通じて県外から支援してくれる人が増えた点も、今後の事業の発展に寄与すると感じている。

### ◆広報基盤の強化

県外の支援者増加に伴い、一層多くの人に事業を知ってもらうことができた。ラジオを通じて定期的な事業の案内を行ったほか、SNSを活用した情報発信や動画配信による情報発信にも着手できた。団体WEBサイトの改装、冊子・印刷物の見直しにも取り組む1年だった。

### ◆組織基盤の強化

一層の事業基盤の安定と事業の継続に向けて、公益認定の取得を目指す内部プロジェクトチームが公益認定の準備を進めた。無事に書類の作成や必要な諸般の準備が整い、令和5年3月の佐賀県公益認定等審議会にて無事に認定の諮問が終わり、新年度から公益法人として事業に取り組むことになった。

### ◆理事会の開催

令和4年 4月17日  
令和4年 6月7日  
令和4年 10月15日

### ◆社員総会の開催

令和4年6月7日（定時）  
令和4年 11月13日（臨時）  
令和5年 1月29日（臨時）

令和4年 11月13日  
令和5年 1月29日  
令和5年 3月26日